

マッシー川口の

# from New York

興奮のアマチュアナイトの巻

Hello! Whaz up? とところで、ワタシ、今夜はちょっと興奮気味ナノ。ハーレムの125丁目にあるアポロシアターで、アマチュアナイトを見てきたから。よかったー。これ好きなんだー。いわゆる黒人の素人のど自慢なんだけれど、日本からわざわざこれ見にくるツアーもあるほどの人気で、毎週水曜日にやって、いつも満員。今日も当日券(14ドル。安いよね?)で入ったら、2階の一番後ろにかろうじて席があってヨカッタ。

「A列車で行こう」の地下鉄Aトレインに乗って「125ストリート」で降りて、地下鉄の駅の階段を上ったら、そこはいきなりハーレム。ほとんど黒人オンリーの街になっているわけで、通りの美容院のポスターも、レコード屋の写真もすべて黒人モデルのスマイルに包まれるわけ。

超満員のアポロ劇場は熱気でむんむん。90パーセント以上、お客さんは黒人でしょうね。司会のお姉さんは、スパイクリーの映画にも出てた人で、60年代風にはアートをアップにしてピッチピッチの超ミニが決まってるグラマーで可愛い黒人女性。後ろのバンドは4人編成で盛り上げのためのショーで歌ってた前座のハーレムの年輩スター? との息もびったり。演奏もベリゲーなのよね。司会者がまずはトップバッターの上から下までターバンを巻いているようなファッションのデニスウィリアムス風な女性シンガーを紹介すると、最初のフレーズ歌ったところで、観衆は即座に反応する。どうやら合格のようだ。ピーピー、指で笛をならしたり手で拍手してる人が多い。それにしても歌がうまい!! なー。いつも、くるたびにマツアオになって感動する。

こんどは、背の高いハーレムのルーサバンドラス登場。この人ものけるほどまかった。グリーンのスーツから覗いている黒いシャツを少し開けて、ダイヤのようなアクセサリが胸元でピカピカ光ってる。ファッションも見逃せないぞ。

そのつぎは、ブロード短髪の帽子をかぶった白人の青年。ステージに上がるといきなりブーイング。司会者が たしなめてもう一度やり直し。今度は、かなり好意的。だけど、わざわざ遠いミネアポリスからきたわりには、オリジナルの歌がイマサンで、本能的な勘が良くて耳の

いいハーレムの観衆は、歌の2フレーズ目で早くもブーイング。口でほんとに「ブー---、ブー---」と音を出しながら、手の方は両手を上げて、人差し指を立てて耳の横のところに持ってきて右へ左へ、早く振ってダメサインをだしまくる。最初は少々のことでは、頑張って歌っているんだ



かわぐちまさよ  
川口雅代

テレビ東京系で放送中の番組「インターネット・エクスプレス」の出演がきっかけで、インターネットの世界に引き込まれる。現在、関東地方のベイFMで「ニューヨークリポート」(毎週金曜日午前8時すぎ、隔週月曜日午前11時すぎ)に出演中。ニューヨーク在住。



けど、だんだん会場中のブーイングの嵐がかなり激しくなってきたところで、バンドのリーダーの渋い合図でアップテンポの「残念でした」のテーマミュージックに変わるの。そこに追い打ちをかけるように、舞台



の影から虹色の帽子をかぶったお兄ちゃんピエロが出てきて、歌うシンガーをあてこの手で舞台からシッシッと追っばらうポーズをおどけながらヤツて見せて観客の笑いを誘うのね。

上手と思ったのになぜかダメだったハーレムのマライアキャリーや、最初の唄いだしてブーになってしまった瘦せたステイービーワンダー。白いシャツに黒いサングラスのおじさんは、なんともくやしそだった。ボーイズトゥメン風一人白人混じりのグループは1コーラスの半分ぐらいいは、ブーときてただけど、その後持ちかえして最後はもう拍手拍手で大合格。

でも、なんたっが一番印象に残ったのは、ジャクソン5風ちびっ子3人組。マイケルの幼少時代そっくりに高い声で踊って唱うの。似てる声質に会場中も大声援の嵐。ところがよく聴いてると一生懸命なんだけど、モロ音程がはずれてる。大人だったら即決サヨナラだけけど、そこはもう会場中応援コール。可愛かったなー。こどもはみんなの宝物っていうことなのでしょうね? ハーレムのお客さんはとても温かいからヨ。だからなんとも幸せな気持ちになるのね。この日優勝したのはショートカットをブロードに染めて、白いスーツで決めてたローレンさんという若い女性。プロ顔負けの実力で、声量といい、声の艶といい、メチャクチャうまくてブツンで、最後の会場の拍手で決める優勝者にダントツの拍手で1位に輝いたの。出口でオメデトウ& Good Luckって話しかけたら、嬉しそうに笑ってキュートで美しかったよ。

ちなみに、アポロといえば、古くは、ピリーホリデーや、デュークエリントンから、ステイービーワンダーまで、数々の偉大なアーティストが育ってきた黒人文化の殿堂。NYにいいたら、一度は見る価値アリですよ。アマチュアナイトはTVでもオンエアされるけど、あはあくまでTV収録用で、この本場のステージとは違うのでご注意!!

さてさて、ハーレムのサイトって結構あるのね。AOLにもハーレムのホームページでできたし、ほかに、在りし日のハーレムのジャズミュージシャンの一枚の写真が語る、<http://www.beattherf.com/great-day/>とか、地図は、<http://www.metrobeat.com/nyc/>などなど、ネットサーチで探すといっぱい出てくるのね。好きな歌手で引いても、楽しめますね。

それじゃ、またね。どうやら、やっと暖かくなって来て、NYにも春が来たようです。あなたにも春が来ていますように。  
Byby,CU,Wink.Love,Masshy\*+)



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)